

動物だより vol.2



動物の名前の由来は??

あかし動物センターでは収容動物1匹1匹に名前を付けています。

(※譲渡後は、お好きな名前を付けて頂いています)

“チョコ”や“マル”のように分かりやすい名前もあれば、

“夏希(なつき)”や“芽生(めい)”のように、由来を名づけ親のスタッフしか知らない猫や犬がいます。

あかし動物センターでの名付け方法ですが、見た目や直感、響きで決める場合もあれば、兄弟同士なら1つのテーマをもとに考えたりします。

例: 詩羽(うたは)、奏(かなで)、律紀(いつき) → 秋に来た子猫達だったので、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋……芸術=音楽から全員音楽に関する漢字が入っています。

上記のような法則に当てはまらない個体の名前は、何らかの意味があります。一部ではありますが、そんな彼らの名前の由来をお伝えしたいと思います。

★夏希(なつき) → 収容当時、慣れない環境で不安げな顔ばかりしていました。

この子は夏生まれで、これからも希望を持って、生活を送って欲しい、という願いから付けました。

★芽生(めい) → 芽生ちゃんは、女の子の猫で収容時風邪を引いており、飼養スタッフは心配していました。そのため、この子の命がしっかり芽生えますように、という思いから名付けました。

★大吉(だいきち) → 前回の「動物だより」で紹介させて頂いた老犬です。大吉君は、目が見えず大変な思いをしてきましたが、その分これからの人生大吉なことがたくさん起こるように、という意味で付けました。

いかがでしたか? 由来が分かったことで楽しんで頂けたら幸いです。

皆さんのペットの名前も色々な意味が込められているかと思います。

最後に、市民の皆さんも、一所懸命考えて付けた名前をたくさん呼んで可愛がってあげてください。



クイズです。彼らの名前の由来は……??

長門(ながと)、大和(やまと)、武蔵(むさし)、陸奥(むつ)

答えは、当センターに掲示の卒業アルバム欄に記載していますので是非ご覧下さい(次回の動物だよりに記載します)。